

前代未聞の暴挙！『危険と判断して停止した』運転士に対して 士職を剥奪し東京駅への転勤！ただちに運転士に戻せ！

10月1日会社は『危険と判断して停止した』運転士に対して士職を剥奪し東京駅への事前通知を出しました。

そもその発端は、8月5日16Aで品川駅発車時に1N入れた瞬間、1ユニットが瞬時点灯し運転士は、危険と判断して停止手配しました。この安全側に考えた行為を会社は「機器扱い不良」として「新幹線乗務員の再教育」の対象にしました。そして「再教育」の合否通知がないまま東京駅への転勤通知です。私たちは、この前代未聞の暴挙に対して満腔の怒りを持って弾劾します。

全運転士の皆さん！すべての価値基軸は乗客の命ですよ！

運転士が危険と判断して停止したのは間違いでしょうか。車掌業務では「通常と違う場合は止める」と指導されています。運転士が止めたのはダメなんです。

この事象に対して指導科の管理者は「なんでユニットがついたただけなのに走らないのか。停止の条件は、非常ブザーか戸じめ『滅』である」と言ったそうです。こんなマニュアル一辺倒でいいのでしょうか。すべては乗客の命なのです。このようなマニュアル一辺倒の会社の対応を許せば、運転士は停止手配を躊躇するばかりか、再びあの悲惨な三島駅高校生転落死亡事故が発生します。しかも、死傷事故が起これば運転士・車掌は刑事被告人にもなるのです。

もはやこの職場には安全綱領は存在しません！

この職場に会社に、安全綱領の「疑わしいときには手落ちなく考えて最も安全と認められるみちを採らなければならない」ということも「危険な場合は躊躇なく止める」ことも存在しません。

私たちは、危険と判断したら乗客の命を守るために止めるんです。今回の前代未聞の暴挙に対して妥協なき闘いを展開します。

安全が最優先され、乗務員の判断が優先される職場を創るために共に声を出しましょう！！